

社会貢献預金(笑顔プラス)の寄付先団体の活動をご紹介します。

近畿ろうきんは、社会貢献預金(笑顔プラス)の取組みを通して、被災地支援や障がい者支援、子育て支援、女性・マイノリティ支援、環境保全、国際協力などの活動を行う、NPO・市民団体を応援しています。

公益社団法人 こどものホスピスプロジェクト(大阪地区)
《日本初の地域型子どもホスピス》

代表理事 高場 秀樹



「TSURUMI こどもホスピス」は、日本初のコミュニティ型子ども向けホスピスです。ホスピスと言うと、穏やかな最後を迎える施設(病院)と捉えられがちですが、こどもホスピスは違います。生命を脅かす病気(LTC)の子どもの学び、遊び、やってみたいと思うことを叶え、「その子の生きる」を支えるための「第2のわが家」です。

LTCの子どもたちは、国内に推計で約2万人いるとされています。病院ではない、子ども個別の思いに寄り添うため、運営費のほとんどを寄付で賄っています。大阪市の鶴見緑地に開設以来、4年間で登録利用した115世帯(2019年度末)のうち小児がんの子どもが半数以上で、治療中や治療後一年以内の子どもが大半です。そして、旅立った子どもたちもいます。ご遺族にとって、子どもとの思い出が残る場所として「あり続ける」こと。これもまた、子どもホスピスの大事な役割で



す。どんな状況であっても、同世代の子どもと同じ体験ができる場所、豊かな記憶を永遠に紡いでいける場となるよう、引き続き、応援をお願いします。

一般財団法人 あしなが育英会(兵庫地区)
《災害・病気等の遺児支援》

会長 玉井 義臣



「あしなが育英会」は、災害や病気、自死などで親を亡くした子どもたちや、親が重度後遺障がい働けない家庭の子どもたちを物心両面で支える民間非営利団体です。そういった遺児たちに対して、奨学金による進学支援を行うと同時に、心のケア活動(グリーフケアなど)にも長年取り組んで参りました。国などからの補助金・助成金は受けず、すべて寄付金で運営しています。

多くの方々のご支援をもとに、阪神・淡路大震災を機に「神戸レインボーハウス」を、東日本大震災を機に「東北レインボーハウス」を開設し、現在も遺児たちやそのご家族への様々なサポートやケアプログラムを実施し、支援活動に尽力しています。

近年増加する災害や感染症などが、親を亡くし心に傷を負った遺児たちの生活や将来に影を落とさないよう、これか



らも遺児たちを支え続けます。引き続き、ご支援をよろしくお願い申し上げます。ご恩を受けた遺児たちは、きっと社会に恩返しできるような人間に育ってくれるはずです。



社会貢献預金(笑顔プラス)は、「預金者の寄付負担(金利引下げ分の利息相当額)」と「ろうきんの拠出金」の合計額を地域のNPO・市民団体に寄付を行う定期預金です。

※商品の詳細は、当金庫ホームページをご覧ください。また店頭に商品説明書をご用意しています。

近畿ろうきんFacebookページ
<https://www.facebook.com/kinkirokin/>



近畿ろうきんFacebookページでは、社会貢献預金(笑顔プラス)の寄付先団体の活動状況などを随時公開しています。